

資料

佐伯四国八十八ヶ所

付、佐伯西国三十三番

— その霊場と札所 —

会友 吉田 良一  
 (佐伯市白坪)

拜啓 餘寒きびしき折、御一統様御健在の事と、御慶び申し上げます。佐伯史談会滿二十歳と成りました事、御儀を申し上げます。

つきましては、大正七年の印刷冊子にもとずき、佐伯四国八十八ヶ所と、佐伯西国三十三番の各願創建者と、まづ御知らせ致します。

發起世話人

佐伯旧殿医藤田春詔翁の門人

針灸 医 佐藤 一哉

久部東禪寺住職 河野 慈 教

佐伯所白坪 吉田 用 八 八幡村代後 戸高 二 誠

佐伯所中村 宮崎 平 八 西中浦村吹 元谷 政 五郎

佐伯所長島 大賀 長 次郎 西上浦村古江 神 田 矢 作

現在又神仏の手を合せる者も少なくなりました。信人者も少なくなり、人情ももうすくなくなり、師にも高年者にも尊厳の氣持もなくなり、觀世音菩薩、弘法大師に對しても信仰のない世情となりました。

佐伯史談会の皆さんには関係少ない事かと思ひまへ

が、ご参考までには書いて見ました。悪くからず御許し下さい。

時節板御一統様の御多幸と御健康をお祈りします。

二月十七日 敬白

吉田 良一

高木 嘉吉 様  
 会員御一同 様

佐伯四国八十八ヶ所 札所

(本尊) (佐伯四国)

第一番	佐伯所	養賢寺	釈迦如来	三番
第二番	佐伯所平坪	空壽院	阿彌陀如来	三番
香外 興院	佐伯所船頭所	大日寺	弘法大師	一番
第三番	佐伯所長島	地藏庵	釈迦如来	二番
第四番	佐伯所難屋	常光庵	大日如来	二番
第五番	西中浦村吹	地藏庵	地藏菩薩	
第六番	西中浦村吹	真如庵	薬師如来	
第七番	西中浦村吹	阿彌陀庵	阿彌陀如来	三番
第八番	西中浦村松留	大日寺別院	千手觀世音	
第九番	米津村浦代	養福寺	釈迦如来	

第十番	米津村浦代	普門庵	千手觀世音	西國 四番
第十一番	米津村竹野浦	鈎月寺	藥師如來	西國 五番
第十二番	米津村小浦	東林庵	虛空藏菩薩	西國 六番
第十三番	木立村 西	東光庵	觀世音菩薩	西國 七番
第十四番	木立村野河内	松樹寺	弥勒菩薩	西國 七番
第十五番	木立村茂敷	地藏庵	藥師如來	
第十六番	下堅田村 <sup>津志</sup> 河内	福嚴寺	觀世音菩薩	西國 八番
第十七番	下堅田村柏江	江國寺	藥師如來	西國 九番
第十八番	下堅田村混谷	西光庵	藥師如來	
第十九番	下堅田村波越 <sup>ハシノ</sup>	東輝庵	地藏菩薩	
第二十番	下堅田村波越	常樂寺	地藏菩薩	西國 十番
第二十一番	下堅田村石打	延命庵	虛空藏菩薩	西國 十一番
第二十二番	下堅田村齊坂	太川庵	藥師如來	
第二十三番	青山村柵野	投珠軒	藥師如來	

第二十四番	青山村谷川	臨泉庵	虛空藏菩薩	西國 十二番
第二十五番	青山村山口	延命庵	地藏菩薩	
第二十六番	青山村黑沢	東光庵	藥師如來	西國 十三番
第二十七番	青山村 <sup>イナガ</sup> 福所	福聚庵	觀世音菩薩	
第二十八番	下堅田村竹角	妙知庵	大日如來	西國 十四番
第二十九番	下堅田村 <sup>西野</sup> 野	円通庵	千手觀世音	西國 十五番
第三十番	下堅田村宇山	白蓮庵	阿弥陀如來	
第三十一番	上堅田村 <sup>ウツノ</sup> 城村	天德寺	文殊菩薩	西國 十六番
第三十二番	上堅田村蛇崎	仙台庵	十一面觀世音	西國 十七番
第三十三番	上堅田村久部	東禪寺	藥師如來	西國 十八番
第三十四番	鶴岡村長瀬	東方庵	藥師如來	
第三十五番	鶴岡村龍 <sup>リウ</sup> 寺	龍護寺	千手觀世音	西國 十九番
第三十六番	鶴岡村坂山	般若院	不動明王	
第三十七番	鶴岡村野口	觀音庵	阿弥陀如來	

第五十一番	第五十番	第四十九番	第四十八番	第四十七番	第四十六番	第四十五番	第四十四番	第四十三番	第四十二番	第四十一番	第四十番	第三十九番	第三十八番
直見村間庭	直見村谷盛寺	直見村岩井戸	切畑村江良	切畑村久土	切畑村門田	切畑村細田	切畑村平井	上野村小田	鶴岡村吉市八戸	鶴岡村門前	鶴岡村腸	鶴岡村土居屋	鶴岡村膝尾
大師庵	観音庵	毘沙門庵	洞明寺	薬師庵	地藏庵	浄光庵	薬師庵	安養軒	養国庵	不休庵	地藏庵	正覚庵	海福寺
薬師如來	薬師如來	釈迦如來	十一面觀世音	阿弥陀如來	薬師如來	不動明王	十一面觀世音	千手觀世音	大日如來	觀世音菩薩	薬師如來	薬師如來	千手觀世音
			三十一番 <small>讀</small>										二十番 <small>讀</small>

第六十二番	第六十一番	第六十番	第五十九番	第五十八番	第五十七番	第五十六番	第五十五番	第五十四番	(番外)	第五十三番	第五十二番
因尾村松内	因尾村日平	因尾村上津川	因尾村井内	川原木村横川 <small>掛取</small>	川原木村神原 <small>谷原</small>	川原木村上地 <small>谷原</small>	川原木村黒沢 <small>谷原</small>	川原木村中津屋 <small>赤木</small>	川原木村野木 <small>赤木</small>	川原木村堂 <small>赤木</small>	直見村竹下
観音庵	瑞祥寺	地藏庵	長楽庵	観音庵	明眼庵	正定寺	願王庵	観音庵	心光庵	常光庵	観音庵
十一面觀世音	大日如來	大日如來	薬師如來	千手觀世音	阿弥陀如來	地藏菩薩	大通勝伴	不動明王	厄除け大師	阿弥陀如來	十一面觀世音
	三十四番 <small>讀</small>					三十三番 <small>讀</small>			三十二番 <small>讀</small>		

此所より八丁奥へ薬師岩、又日セリワリセンジョウあり。又五十九番礼所より十五丁下り上津川村宝ガルヤに、大師自作の石湯あり。

第六十三番	中野村小半	薬師庵	毘沙門天	
第六十四番	中野村波野	臨川庵	阿弥陀如来	<small>三十五番</small>
第六十五番	中野村宇津々	地藏庵	十一面観世音	
第六十六番	中野村三蔵寺院	薬師庵	千手観世音	
第六十七番	上野村谷口	大聖寺	薬師如来	
第六十八番	上野村烟水	西運寺	薬師如来	
(番外)	上野村留田	地藏庵	生木地藏尊	<small>二十六番</small>
第六十九番	明治村大蔵木烟	千体庵	観世音菩薩	
第七十番	明治村床木二蔵	仙床寺	馬頭観世音	<small>二十七番</small>
第七十一番	明治村床木二蔵 <small>山科</small>	普門庵	千手観世音	
第七十二番	明治村床木 <small>山科</small>	光林庵	大日如来	
第七十三番	八幡村中野	薬師庵	釈迦如来	
第七十四番	八幡村海河	臨江庵	薬師如来	
第七十五番	八幡村戸穴引池	地藏庵	薬師如来	

第七十六番	八幡村戸穴	願成寺	薬師如来	<small>二十八番</small>
第七十七番	八幡村戸穴	万休院	薬師如来	<small>三十一番</small>
第七十八番	八幡村折戸	薬師庵	阿弥陀如来	
第七十九番	八幡村内越	観潮庵	十一面観世音	
第八十番	八幡村代後	海福庵	千手観世音	<small>三十番</small>
第八十一番	西上浦村嬉瀬	海光庵	千手観世音	
第八十二番	西上浦宮ノ内	西光庵	千手観世音	
第八十三番	西上浦狩生	聴松庵	観世音菩薩	
第八十四番	西上浦村古江	三照庵	千手観世音	
第八十五番	西上浦村元干	地藏庵	観世音菩薩	
第八十六番	東上浦村海井	地藏庵	十一面観世音	
第八十七番	東上浦村夏井	千眼院	観世音菩薩	<small>三十一番</small>
第八十八番	東上浦村夏井	地藏庵	薬師如来	

眞の院 金光山 本尊 弘法大師 靈驗あり大なり  
 第八十番より半丁下り左の坂の城、之の寺村名は次十二丁

補注 (編集者)

佐伯四國の創設は「大正六年(一九一七)十一月、弘法大師信仰の人佐藤一哉が、南海部郡各村の寺庵八十八ヶ所を、霊跡巡礼の札所とした」(佐伯市史)なのであるが、昭和七年に活版印刷の冊子には、かなりちがひな点がある。この参考まで二二三の点を指摘し、尚若干の見聞を添えたい。

③ 右の吉田氏提供の資料は、原本は忠実に当時の所村名を用いておられる、これはよいことである。

④ 大きい寺院で且札所は本堂でなく境内にある観音堂・薬師堂・地藏堂などを充て、そこに弘法大師の像をまつて札所とした向が多い。そこで本堂本尊・札所本尊がこんがらがっている向がある。

⑤ 札所八番・九番・十番・五十五番・六十二番・六十三番については、この表と市史の表と相違がある。

⑥ 尚一々の札所所在地、寺院名称、本尊・実際と相異するところもあるようで、これは何かの事情によるものがある。地区の会員の検討をお願いしたい。

⑦ それにしては村々の庵は大半は無住、おすかに篤信の老農たちが参拝し、線香を焚き、お湯をナヤけて、持折の花を供えておまつりしている。中にはそのように女ことば全くなく軒は傾き、瓦は落ち、雨戸すら満足に立てていない。全く札所受難の時代である。

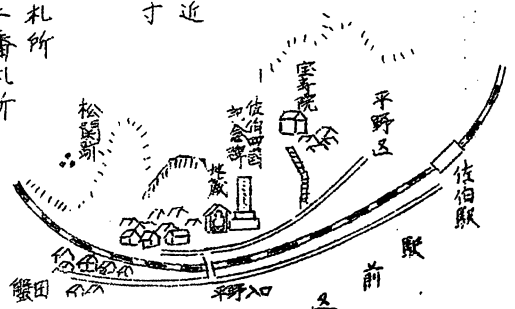
⑧ 旧正月も半ば過ぎた頃か、善男・善女のお遍路さんが、毎日幾組かが田舎道を通っていた。菅笠、負いづる、金剛杵、そして鈴を鳴らしながら、茶屋の花屋へお参りを霊場札所とさして歩いていった。その姿、今はほとんど見かけない。

⑨ たゞ僅かに、大島と、畑野浦の人々が船やバスで佐伯まで出かけ、市内のお寺や近郊の庵など、八十八ヶ所ならぬ「十ヶ所まいり」とつづけているに過ぎない。(和)

追 信

(三月二十八日吉田氏より来信)  
先日、蜜村山までお出で下さいます。真に有難う御座いました。その節談しおとした事がありません。

佐伯四國八十八ヶ所祭願創建の記念碑が、平野入口踏切りのすぐ近くにありませう。ついでの時でも一寸立寄って見て下さい。  
すじ神様 空壽院



佐伯四國八十八ヶ所 二番札所  
佐伯西國三十三ヶ所 三十二番札所  
お守者の氏名 岩本 慈観師  
法名 空壽院僧都清林大徳居士

平野区の地藏様は、交通安全祈願のお地藏様で、又民の方々はその前を通る時には、みんな拝んでおります。ご参考になれ成幸いと思ひます。(後夏) 敬白

細則 龍護寺三首 山田力三

十年前夫に添ひ赤し龍護寺史談会物故者の法要に招かる  
逝きし人とともに祀りしその夫が今またらるる龍護寺本堂

ありし日に夫の語りし史談会のテープ面輪  
偲ばる龍護寺の書院